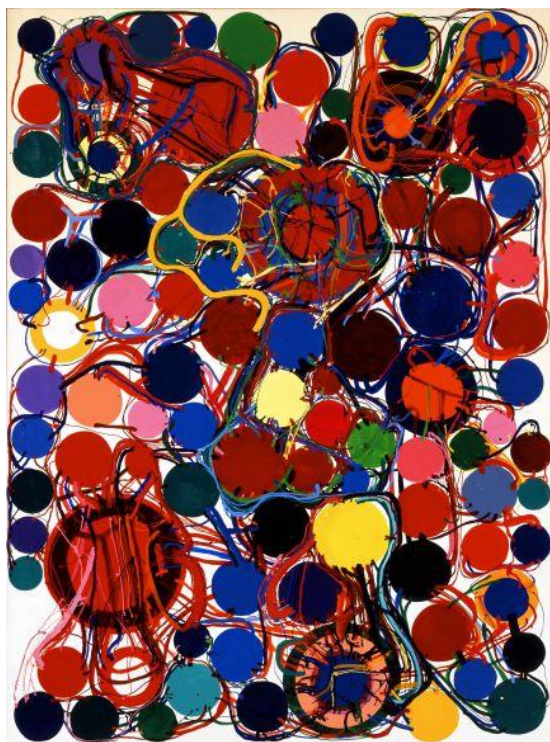


岐阜県美術館所蔵品展のご案内

カラー・マジック

田口コレクションと安藤基金コレクションから



田中敦子《'83》1983 岐阜県美術館蔵 田口コレクション
©Kanayama Akira and Tanaka Atsuko Association

「いろ」と「かたち」は造形の必須要素。中でも「いろ」一色彩は私たちの心を刺激し誘導する力をもっています。見る色、選んだ色によって、明るく元気な気持ちを感じたり、静かな落ち着いた印象を受けたりしませんか？ カラー・チェンジで雰囲気も気持ちも変わる。それはまるで色彩の操る魔法にかけられたよう。不思議で楽しい体験です。

本展では、岐阜県美術館の所蔵品の核となる二つのコレクションから、色をテーマに厳選して作品を紹介します。それぞれのコレクションのカラー（特徴）もあわせてお楽しみください。

 **岐阜県美術館**
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU

展覧会名	カラー・マジック 田口コレクションと安藤基金コレクションから
会場	岐阜県美術館 展示室1
会期	2020年1月9日（木）～3月22日（日） ※会場の一部は1月15日（水）からオープンします。 開館時間／10時00分～18時00分（入場は17時30分まで） 2月21日（金）、3月20日（金・祝）は20時00分まで開館 （入場は19時30分まで） 休館日／毎週月曜日（月曜が祝・休日の場合は翌平日）
観覧料	一般 340円（280円） 大学生 220円（160円） 高校生以下無料 （ ）内は20名以上の団体料金
主催	岐阜県美術館

本資料に関するお問い合わせ

岐阜県美術館 広報担当：後藤 企画展担当学芸員：青山
〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22
TEL 058-271-1313 FAX 058-271-1315
<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp> E-mail: goto-hiroyuki1@pref.gifu.lg.jp

岐阜県美術館所蔵品展

カラー・マジック

田口コレクションと安藤基金コレクションから

田口コレクション
について

開館以来、岐阜県美術館ではセイノーホールディングス株式会社を母体とする公益財団法人田口福寿会から貴重な作品をご寄贈いただけてきました。

田口コレクションは内容から3つの時期に分類できます。第1期は1982（昭和57）年から2004（平成16）年。この時期は「開館10周年」などの周年記念として、主としてフランスやイタリアの近現代彫刻が寄贈されました。例えば1986（昭和61）年度収蔵のオーギュスト・ロダン《イヴ》（1883年頃作）は、19世紀フランス美術の巨匠による大理石の彫刻で、代表作《地獄の門》の関連作品です。

第2期は2005（平成17）年から2006（平成18）年。この2年間は現代美術に焦点が当たりました。内容として特筆すべきは、名古屋市出身の美術家、荒川修作の作品群です。2004（平成16）年末時点で岐阜県美術館が所蔵する荒川作品は油彩画1点でしたが、セイノーホールディングス株式会社からはアクリル絵具他を用いた《ヘレン・ケラーあるいはヨゼフ・ボイスの肖像》（1986年作）が、田口福寿会からは86点の版画と立体《名前のない耐えているものI》（1958年作、1986年再制作）が寄贈されました。

第3期は2008（平成20）年度以降で、熊谷守一、矢橋六郎、三尾公三ら岐阜県ゆかりの作家や、オディロン・ルドンやカミーユ・ピサロ、ジョルジュ・ブラック、藤田嗣治（レオナール・フジタ）など岐阜県美術館のフランス美術コレクションを強化する作品群など、貴重な作品が寄贈されました。

彫刻、現代美術、近代絵画とジャンルを拡大してきた田口コレクションは、岐阜県美術館所蔵品の要として常時展示、活用されています。

安藤基金コレク
ションについて

1987（昭和62）年、県内の実業家であり、かつ指定文化財の所有者としても知られる安藤鉦司氏から、新たな美術品購入のためのご寄付をいただきました。安藤氏の貴重な寄付を効果的に活用するため、これを原資として「安藤基金」を設立し、財産運用によって生じた収益をもって美術品を購入しています。

1989（平成元）1月の岐阜県美術館収集委員会を経て、レーモ・ビアンコ《痕跡60C》（1959年作）など6点の作品が、最初の安藤基金コレクションとなりました。収集開始から14年を経た2003（平成15）年1月、「開館20周年記念 安藤基金コレクション 現代美術展 20世紀後半のダイナミズム」と題し、33作家の作品群、約50点を展示しました。2006（平成18）年には「参加してエンジョイー不思議なアートに触れてみよう」と題して、安藤基金コレクションを中心に厳選された約40点が国内4館（八王子市夢美術館ほか）を巡回、多くの美術ファンが岐阜県美術館の現代美術コレクションの核として「安藤基金コレクション」を認知することになりました。2010（平成22）年には、「岐阜県の版画コレクション」を安藤基金により取得することができ、郷土ゆかりの美術が充実し、その成果は2017（平成29）年の企画展「岐阜の版画」で紹介されています。

「1950年代以降の美術」に焦点をあてた安藤基金コレクションは、2019年末現在、60作家、147件に及び、当館の誇る現代美術の一大コレクションとなっています。

展示作品一覧

しろ／くろ

- オーギュスト・ロダン 《イヴ》1883年頃 田口コレクション
 藤田 嗣治 《夢》1925年 田口コレクション
 藤田 嗣治 《猫》1949年 田口コレクション
 荒川 修作 《裏から表へ》1969年 安藤基金コレクション
 荒川 修作 《ヘレン・ケラーあるいはヨゼフ・ボイスの肖像》
 1986年 田口コレクション
 荒川 修作 《虹彩の領域》1974年 田口コレクション
 荒川 修作 《そして、あるいは、側面図において》
 1975年 田口コレクション
 齋藤 隆 《飛》1971年 安藤基金コレクション
 井田 照一 《無題》1983年 安藤基金コレクション
 野村 仁 《励起する真空》1990年 安藤基金コレクション
 伊藤 慶二 《面》2010年 安藤基金コレクション



オーギュスト・ロダン 《イヴ》1883年頃
 岐阜県美術館蔵 田口コレクション

あか

- 土屋 禮一 《ブローチを付けた自画像》
 1972年 安藤基金コレクション
 猪熊弦一郎 《スクエア・イン・ザ・ウォーター》
 1970年 安藤基金コレクション
 白髪 一雄 《地魔星雲裏金剛》1960年 安藤基金コレクション
 嶋本 昭三 《作品》1960年 安藤基金コレクション
 元永 定正 《せんとあかいろのかたち》
 1987年 安藤基金コレクション
 高橋 秀 《記憶の風景》1988-89年 安藤基金コレクション



猪熊弦一郎
 《スクエア・イン・ザ・ウォーター》1970年
 岐阜県美術館蔵 安藤基金コレクション
 ©The MIMOCA Foundation

あお

- 辰野登恵子 《NOV-86-18》1986年 田口コレクション
 サム・フランシス 《ファースト・ストーン》
 1960年 安藤基金コレクション
 李 禹煥 《線より》1977年 安藤基金コレクション
 李 禹煥 《照応》2003年 田口コレクション
 三尾 公三 《蒼天》1990年 田口コレクション
 三尾 公三 《月上る頃》1999年 田口コレクション
 三尾 公三 《夢幻空花 (B)》1999年 田口コレクション
 坂倉 新平 《ブルーの根源-1》1998年 安藤基金コレクション
 村井 正誠 《役者》1953年 安藤基金コレクション
 金子 潤 《無題》1989年 安藤基金コレクション



坂倉新平
 《ブルーの根源-1》1998年
 岐阜県美術館蔵
 安藤基金コレクション

展示作品一覧

みどり

カミーユ・ピサロ 《牛の番をする農夫、モンフコー》

1875年 田口コレクション

ジョルジュ・ブラック 《緑の円卓》

1943年頃 田口コレクション

彦坂 尚嘉 《P.S.P.30 (森の神)》

1989年 安藤基金コレクション

加納 光於 《振りまわす巣房の下でI》

1993年 安藤基金コレクション

傍島 幹司 《Sweet Woods II》

2016年 安藤基金コレクション



傍島 幹司
《Sweet Woods II》2016年
岐阜県美術館蔵
安藤基金コレクション

いろいろ

レーモ・ビアッコ 《痕跡 60C》

1959年 安藤基金コレクション

諏訪 直樹 《PH-01-8701》

1987年 安藤基金コレクション

諏訪 直樹 《PS-9053》

1990年 安藤基金コレクション

川合 玉堂 《春景秋景山水図》

1918年 田口コレクション

山田 光 《矩形の空間とパイプの立像》

2001年 安藤基金コレクション

田中 敦子 《'83B》1983年 田口コレクション

中西 夏之 《1字形—左右の停止III》

1986年 安藤基金コレクション

中村 一美 《分散—視座III》1990年 安藤基金コレクション

ジョゼフ・アルパース 《形成 分節》

1972年 安藤基金コレクション

村井 正誠 《居ならぶ人々》1969年 安藤基金コレクション

辰野登恵子 《NOV-86-15》1986年 田口コレクション

神戸 智行 《いつもの時間》2009年 安藤基金コレクション

四代 田辺竹雲斎 (小竹) 《つながり—現在心・過去心・未来心》

2013年 安藤基金コレクション

日比野克彦 《SWEATY JACKET》1982年 安藤基金コレクション

金子 潤 《無題》1978年 田口コレクション



川合玉堂《春景秋景山水図》1918年
岐阜県美術館蔵 田口コレクション



田中敦子《'83B》1983年
岐阜県美術館蔵 田口コレクション
©Kanayama Akira and Tanaka Atsuko Association

関連イベント

いろいろ ギャラリートーク

展覧会担当学芸員が、コレクションと「いろ」について、いろいろな点からお話しします。

日 時：1月19日（日）、2月20日（木）
各日13：30－14：30
「いろいろ・よもやま話」

3月20日（金・祝）
18：30－19：30
「色っぽい話」

会 場：岐阜県美術館 展示室1
担 当：青山訓子（岐阜県美術館 学芸課長）
※事前申込み不要、ただし観覧券が必要

作品鑑賞会

ナンヤローネ
アートツアー

美術の知識ではなく感じたことをもとに交流するアートツアー。どなたでも楽しめます。

日 時：1月26日（日） 13：30～14：30

会 場：岐阜県美術館 展示室1・多目的ホール

担 当：岐阜県美術館 教育普及係

対 象：すべての人

※事前申込み不要、ただし観覧券が必要、当日 13:00～13:30 受付



カラー・マジック

田口コレクションと

安藤基金コレクションから



広報画像貸出申込書

FAX 送信番号 : 058-271-1315

貴社名		ご担当者名	
媒体名	(掲載コーナー、特集名 :)		
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL :	FAX :	
	E-mail :		

1. ご紹介いただける場合、貴媒体の情報をお知らせください。

掲載/放送	月	日	発売・放送 (月号) / 発行部数	部
掲載内容				

2. 広報画像はご使用になりますか。

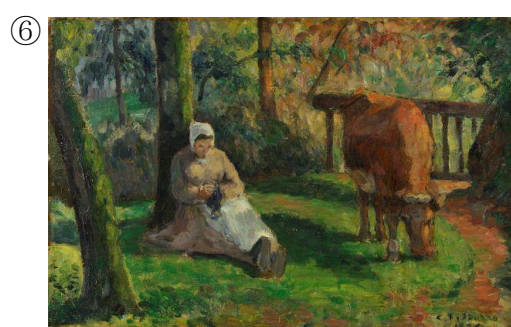
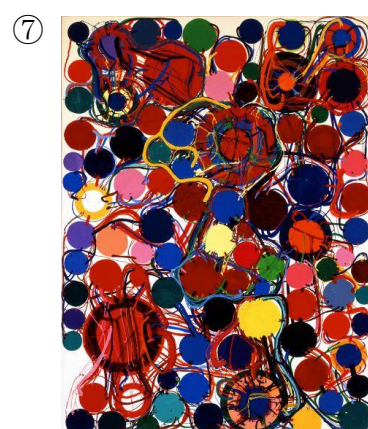
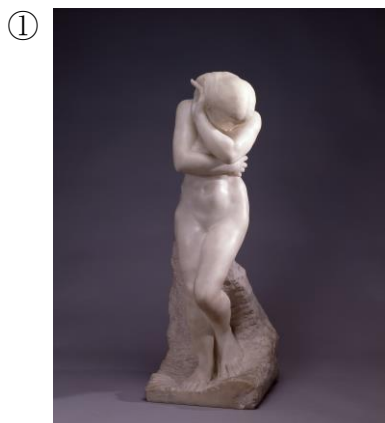
はい 画像データ到着希望日 (月 日) いいえ (写真は使用せず、文字掲載のみ)

3. 別紙の写真をご参照の上、ご希望の【画像番号】にチェック☑してください。

下記キャプションの作品名称、所蔵、クレジットを必ずご記載ください。

<input checked="" type="checkbox"/>	番号	ご掲載時のキャプション表記
<input type="checkbox"/>	①	オーギュスト・ロダン《イヴ》1883年頃 岐阜県美術館蔵 田口コレクション
<input type="checkbox"/>	②	猪熊弦一郎《スクエア・イン・ザ・ウォーター》1970年 岐阜県美術館蔵 安藤基金コレクション ©The MIMOCA Foundation
<input type="checkbox"/>	③	坂倉新平《ブルーの根源-1》1998年 岐阜県美術館蔵 安藤基金コレクション
<input type="checkbox"/>	④	傍島幹司《Sweet Woods II》2016年 岐阜県美術館蔵 安藤基金コレクション
<input type="checkbox"/>	⑤	川合玉堂《春景秋景山水図》1918年 岐阜県美術館蔵 田口コレクション
<input type="checkbox"/>	⑥	カミーユ・ピサロ《牛の番をする農婦、モンフコー》1875年 岐阜県美術館蔵 田口コレクション
<input type="checkbox"/>	⑦	田中敦子《'83B》1983年 岐阜県美術館蔵 田口コレクション ©Kanayama Akira and Tanaka Atsuko Association

■ 広報画像一覧



【広報画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります。
- 展覧会名、会期、会場名は、必ず掲載してください。クレジット表記のあるものについては、必ずクレジットを記載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなどの画像の加工・改変はできません。
- 転載などの2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードをしてください。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープ・DVD等を、岐阜県美術館へ1部お送り願います。
- 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は岐阜県美術館までご連絡ください。